第６学年　総合的な学習の時間 学習指導略案

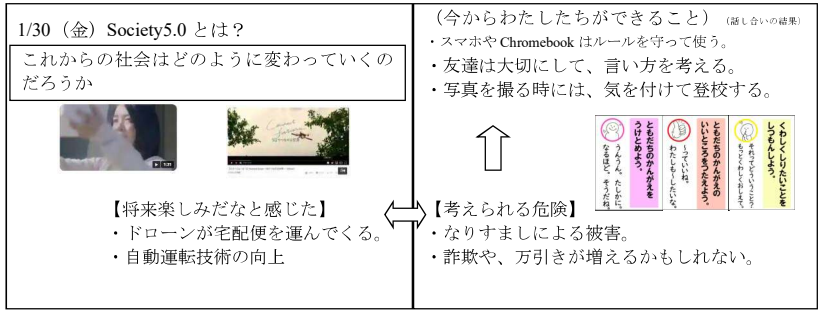
教科等	総合的な学習の時間	単元名	Society5.0の社会	本時	全８時間扱いの７時間目
学級	６年１組	授業者		教室等	４階　６年１組教室

＜本　時　の　指　導＞

＜本時のねらい＞
これからの社会の変化に見通しをもち、わたしたちが今からできることの取り組みについて考えることができる。

	主な学習活動【4つの視点】 主な発問:T　予想される児童の反応:C	○研究主題にせまる６つの手立て □…指導上の留意点　☆…評価　※UD
導入	１.前時までの確認 資料を閲覧し、これからの社会の姿・システムについて考える。 T:わたしたちの社会はこれからどのような社会になっていくと思いますか。 C:AIが台頭してきて、豊かになると思う。	
展開	これからの社会は、どのように変わっていくのだろうか。 ２.これからの社会の変化を考える。【発見】 T:どのような点が、豊かになると思いますか。 C:データ通信で、いつでも、どこでもテレビやアニメが見られるようになる。 T:どんなことに気付きましたか。ワークシートに記入しましょう。 T:近くの人はどんな内容を記入しているのでしょうか。あなたの考えと同じですか。違いますか。 ３.友達の考えと自分の考えを比べてみましょう。どんな違いや共通点があるかを考える。【交流】 T:社会のどんなところに、よさや期待をもちますか。 C:自動運転や、サングラスの発展など T:では、逆にどんな問題がでてくると予想されますか。 C:万引きやなりすまし、送信間違いがあるかもしれない。 ４.わたしたちが、この時代までに達成しなければいけないことといったら、何だと思うかを考える。【決定】 T:わたしたちが、SNSやインターネットを使用する際に、適切に使用できていますか。 C:できている。できていない。 T:わたしたちのこれからの課題といったら、何でしょうか。 ５.「社会の変化と情報モラル」より、考えうる課題を出し合い、共有する。【表現】 T:どんな課題が挙がってくるかを考えましょう。 C:文面上だと、丁寧な言葉が大切な気がする。 C:オンライン学習の際はやっぱり背景に気を付ける。 T:どんな課題が挙がったか、共有しましょう。 T:今日の学習では、将来の社会から今の私たちにできることを考えました。あなたは、どんなことを感じましたか。また、今日からどう生活しようと思いましたか。	□視覚的に、分かりやすいよう動画を視聴し、未来の社会の展望をもちやすくする。 ○話題設定の工夫 今後の社会の展望を自分事として捉えられるように、生活の中からの話題提示を行う。 ○交流の目的と視点の明確化 「自分の予想をより友達に納得してもらえるものにするため」という目的と、「自分の考えと比べて、同じか、違うか」、「友達の考えは自分が納得できるものか」という視点を与える。※焦点化 ※各グループに分かれて、大切なものを取捨選択して記録し、掲示する。 ○話し合いの話型の提示 話し合いの話型「友達の考えを受け止めよう」「友達の考えの良いところを伝えよう」「くわしく知りたいことを質問しよう」を示す。 □自分の考えを「見える化」する。
	６.ワークシートに書く。共有する。（小グループ→学級）	小グループで共有させ、その後学級全体で共有させる。 ☆Society5.0の社会を知り、今の社会との違いに気付き、そこにある危険についても気付き、表現することができる。
終末	７.まとめ T:未来を最大限楽しむためには健康に生活することが大切です。スマートフォンの使い方、ネットの使い方はこのままでよいですか。もう一度、生活を見直してみましょう。	□説話から、自分の生活を振り返る。自分自身の生活を改善しようとする。

【板書計画】



【研究主題にせまる６つの手立てとの関連】

（1）「自分の考えを言葉で表現する」ための手立て

話題設定の工夫

自分事として捉えられるよう視覚的な映像資料を視聴し、児童がテーマを捉えやすいようにする。

話し合いの話型の提示

特に意識する視点をカードにして、黒板に掲示し、活動中に常に意識させるようにする。

（2）「学び合う」ための手立て

意図的にグルーピングされた小集団での交流活動の設定

全体共有の前に、近くの友達と考えを共有し、自信をもって全体共有しやすい展開にする。

交流の目的と視点の明確化

これからの社会を展望し、社会の発展とその裏にある課題を考えることを、交流の目的とする。友達の考えを受けることで視野を広げるために、この交流を設定した。また、前時の学習で学んだことを生かし、自らの思いや考えを付けたし、補完していく旨を確認しながら活動する。